

# さなぎ達通信

平成24年1月号

VOL.28 

特定非営利活動法人 さなぎ達

email:sanagitachi@nifty.com

〒231-0026 横浜市中区寿町3-9-8

TEL:045-228-1055

会員・サポーターをはじめ、いつも「さなぎ達」に気をかけて下さっている皆様へ



さなぎ達理事長

ポーラのクリニック院長

山中 修

平成23年は「さなぎ達」にとっても、大変な年でした。

震災のため、世間の目は東北へ、東北へ。  
物品も、お米も、ご寄付も、みんな東北へ。

「さなぎの家」の棚は、空になりました。

「さなぎの食堂」の米備蓄棚も、空になりました。

物も減り、お金も無くなり、来年度の運営予算を大きく見直すことを余儀なくされました。

理事会では、苦肉の策として「新しい収益事業を始めようか？」という案も出ました。でも、それは「さなぎの主旨とは違うんじゃないか？」と、若い職員からたしなめられました。

理事長が、とある別のNPO法人の理事長に相談したら、「リーダーたるものは、不安を感じさせるような発言や文章を書いちゃいけない！」と、叱咤激励されました。このアドバイスは私を奮い立たせました。

「さなぎ達」を長〜く理解・支援してくれている、とある人は、「これまで続けて来たんだから、どんな形でも継続するのは社会責任よ！」と、応援してくれました。「社会責任」という言葉も、私にはカンフル剤でした。

この後、職員一人ひとりとゆっくと面談をしました。その結果、皆様のおかげをもちまして、来年度を目指す次期総会にてご案内できる予算、構想が整いました。

基本は、「木曜パトロール」との共同作業や「さなぎの家」と「さなぎの食堂」の死守継続となります。「さなぎ達」の原点です。

「木パト」は、教会の方々や、多くの若者、寿の住民によって支えられています。

「さなぎの家」は、横浜インターナショナルスクール (YIS)の家賃ご支援で運営できています。

その中で癒やされたり、社会復帰されたりする人々の支援は、横浜市との協同事業によって支えられています。

「さなぎの食堂」は、就労支援卒業者のおじさん達やボランティアの人たちで支えられています。

こうして考えると、この世に生まれてきた人に無駄な人など一人もいないと気付かされます。みんな、それぞれの役割・使命をもって、寿も動いています。

「さなぎ達」も、役割と使命を再確認して、活動を継続して参ります。

1月28日には総会を開催致します。

リーダーも先が見えていません。

でも、間違いなく見えていることもあります。

会員の皆様には、是非おいで頂き、一緒に「さなぎ達」の活動方針について考えて頂いて、応援・叱咤激励を頂きたいと思えます。

宜しくお願い致します。

## \*さなぎ達12期\*

会員 68名

サポート会員 34名

ご支援頂いた たくさんの皆様

本当にありがとうございました。

## 特集：「さなぎの食堂」営業中！



「さなぎの食堂」は、路上生活者にも3食温かい食事を食べてもらいたいという趣旨で、2002年から始まりました。路上生活者や寿地区、周辺地域の方々など毎日250人程のお客様を迎えています。

毎日でもご来店頂けるよう、美味しく出来るだけ安価なメニューです。

一番人気は、日替わり定食！毎日の献立が楽しみになる内容です。寒～い冬におススメは豚汁定食。具たくさんで、体の芯から温まりますよ。

「食」以外に「職」の機能も担い、寿地区生活者に就労機会の提供をしています。

2009年より「寿」UMP（生活・就労・メンタルサポート事業）の活動の場になっています。ステップアップ制のプログラムにより、参加者のモチベーションを高め、自身や目標の創出を図ることができます。今日も、参加者の「いらっしやいませ」という元気な挨拶が聞こえてきます。

雑誌「散歩の達人」12月号で、「さなぎ達」が紹介されています！

12月号は、“ローカル・ハマ”として「横浜・桜木町・関内・石川町・山手・根岸」の特集号です。その中で、寿町は“日雇いの町から福祉の町へ”という記事で掲載されています。また、「さなぎの食堂」は折込みマップにも載っていますので、是非ご覧ください。

多くの方にご来店頂きたく、この機会に「さなぎの食堂」を改めてご案内致します。

### メニュー

※仕入れの都合によりメニューが変動する場合があります

300円

カレーライス  
アジフライ定食  
コロッケ定食  
豚汁定食  
焼き魚定食  
納豆定食 など

350円

メンチカツ定食  
肉団子定食  
オムレツ定食  
焼き魚定食  
煮魚定食 など

400円

日替わり定食  
豚生姜焼き定食  
カキフライ定食  
とんかつ定食  
ハンバーグ定食  
とろろ定食 など

食堂のメンバーは、職員の他、アルバイトさん、ボランティアさん、寿JUMPの参加者で成り立っています。

元日以外の364日、元気に営業中！  
明るく清潔な店内で、皆様のご来店をお待ちしています。



※写真と異なる場合があります



さなぎの食堂

JR京浜東北・根岸線又は横浜市営地下鉄  
「関内駅」より徒歩7分

横浜市中区寿町2-7-8 神崎ビル1F

営業時間：10：00～14：00／15：30～18：00

### \* 緊急募集 \*



お米のご寄付  
よろしくお願ひ致します

### お米 大募集中！

11月中旬より、お米の仕入値が高騰し、食堂の経営を圧迫しかねない状況です。

「さなぎの食堂」では、毎日35～40kgのお米を消費しています。他の食材であれば、違うもので代用する等の応用ができますが、お米はそうはいきません。お米は元気の源です。ご飯のない定食はありません。

数年前に「ひと握りのお米から」というキャンペーンを実施したことがありますが、今回も、同様の思いで、皆様のお力をお借り頂ければ幸いです。継続的なご支援を、何卒宜しくお願ひ致します。

 今号の〇〇さん

今回は、「さなぎの家」の開設初期から、お付き合いのあるミユキさん（本人の希望によりカタカナ表記にしています）をご紹介します。

**名前：**マナベ ミユキ  
**趣味：**これと言ったものはありませんが、「さなぎの家」に来て、皆とおしゃべりをするのが楽しみです。  
**わたしにとって「さなぎの家」とは？：**10年前、路上生活中に、友人に連れられて初めて「さなぎの家」を訪れました。当時は、自分の生活を維持するのが精一杯でした。「さなぎの家」は、日雇い労働者が多く利用していたり、年齢の差もあったりして、皆の中に溶け込むのに苦労しました。  
 でも、今では「さなぎの家」は、色々な人とのコミュニケーションの場になっています。  
**今後の希望：**これからは、心身共に健康であることを心がけながら、体調と相談して作業所に通ったり、今は「さなぎの家」の周りだけです。行動範囲を少しずつ広げて、年齢の若い人たちとおしゃべりをしたりしたいです。



「さなぎ達」と関わりの深い岡野さんが、どうして寿町に出会い、何を感じたかなどを綴ったシリーズの第2弾です。

「なぜこの人達はここにいるのか？」

寿町に関わるようになってから暫く、それが私の疑問でした。

お金・仕事・住む家・人間関係、いろいろなものを無くした人たち。それは何故なのか、その人自身の責任なのか。

その人がよい教育を受け高収入の仕事に就けるのも、周りの環境と良い人間関係を築けるのも、それはその人が生まれた家庭、育った環境が大きく影響すると、関わり、調べ、学ぶ中で気付きました。

ふとしたきっかけで、すべり台からスルスルと滑り落ちるとき、何も掴むものがなかったら…。ここにいる多くの人が生活保護や路上での生活を望んではいません。ただ、なんとか明日も生きるために、時々笑いあっています。

私は一個人として、また「さなぎ達」を通じて、ただ傍にいたいと思うのです。(続)

【岡野 慶光】

**続・今号の〇〇さん**

27号の「今号の〇〇さん」に登場した松丸さんは、その後、体調を崩されたようで、しばらく会うことが出来ませんでした。久しぶりに「さなぎの家」でお会いしたら、陶芸教室に通いたいと言われたので、話を伺いました。

その動機は、「前から、書道、絵画、陶芸など何か習ってみたいと思っていました。陶芸には、以前挑戦したことがあるのですが、上手くいかずに挫折してしまっただけで、今度はその雪辱を果たしたいと思って。」とのこと。また、同年代の友人が教室にいたので、一緒に習いたいと思ったようです。

現時点では、体調が整わず通えていないようですが、何か作品が出来たら見せて欲しい！と頼んだところ、「以前の体験から、陶芸は、ろくろでのちょっとした手加減で失敗するので、一朝一夕に人様に見せるようなものは出来ない。」とのこと。それでも、「いつになるかわかりませんが、気に入った作品が出来た時はお見せします。」と約束してくれました。

前回のインタビューで、「何か希望を持つことは、生きていく上で必要なこと」だと言っていました。良い作品を作ろうと、希望を持って頑張る松丸さんに、エールを送りたいと思います。

【高野 圭吾】

**データブック**

	9月	10月	11月
さなぎの家 利用者 (人)	3417	3980	3589
木曜パトロール 野宿者総数 (人) ※	186	248	580
寿 JUMP 参加者 (人)	3	3	3
KMVP 利用者 (人)	8	8	8
KMVP 活動件数 (件)	24	28	32
さなぎの食堂 仕出し弁当 (食)	172	201	84

※ 木曜パトロールは、11月～3月は毎週木曜日(4,5回実施) 4月～10月は第2、第4木曜日(2回実施)、に行っています。

